

創立100周年記念事業のご案内

本校は大正15年3月30日、水戸市立高等女学校として水戸市竹隈町に設立されました。以来戦争、3度に及ぶ火災、4度に渡る校地移転、廃校の危機といった幾多の困難を教職員と生徒の皆さんが一致団結して乗り越え、昭和24年3月に茨城県立水戸第三高等学校と改称され、普通科並びに芸能科が置かれる男女共学校となりました。昭和29年に家政科が新設され、更に昭和35年には芸能科が音楽科に改称となり現在の姿が確立しました。「葵」と「水」の校章が象徴するように水戸城二の丸跡に堂々とその威容を誇り、日々成長と発展を遂げ、令和8年に創立100周年を迎えることとなりました。

旧市立の校歌と現三高の二つの校歌、「叡智・清純・自彊」の校訓のもと、優秀な卒業生は2万6千名を数え国内外で活躍しています。「夢へ向かって 学び！創り！奏でる！」のスローガンのもと、普通科、家政科、音楽科の個性を尊重しながら協力しあい、授業、学校行事、部活動、ボランティア活動とバランスの取れた教育活動が展開されています。学校行事や特別活動も活発に行われ、関東大会・全国大会へ出場を果たす部活動もあり、文武両道を実現しつつ、いきいきと高校生活を送っています。進路実績では約90%の生徒の皆さんが国公立大学、私立大学、短期大学、専門学校等への進学を希望される皆さん、即戦力として社会貢献を目指す皆さんがめざましい成果をあげています。同窓生一同、生徒の皆さんの頑張り、日頃の先生方のご指導に心より敬意と感謝を申し上げます。私たちも高校時代を思い出しく懐かしく母校に誇りを感じております。

2019年末からのコロナ禍は学校教育にも大きな影を落とし、一斉休校、時差・分散登校など、これまでに経験したことのない毎日となりました。授業はもちろん、クラブ活動や学校行事も大幅に制限を受けました。それまで当たり前であった生徒の笑顔やおしゃべりが、いかにかけがえないものであったか、授業や部活動、学校の存在が生徒達にとって唯一無二のものであったということを改めて確認できる機会になったのではないかと思います。また、「ICT機器の活用」や「新しい学び」により、情報の重要性、生徒達の実践的、グローバルな視点が育まれ、「世界中には解決が難しいことがあることや答えはすぐに出ないこともある」と言ったような学びから、国内外の諸課題の解決、国際社会に貢献できる資質や能力を涵養し、水戸三高生が水戸三高生であり続けるために日々精進し、困難を互いに協力して乗り越え、視野を広げ、可能性を引き出す大きな学びを得ていただければと希望いたしております。この100周年記念事業が新たな100年への出発点となることを確信しています。

同窓生の皆様におかれましては、来たる令和8年10月24日（土）に茨城県立水戸第三高等学校創立100周年記念式典（開始時刻は未定～）、会場は水戸市民会館グロービスホールにて開催が予定されていますが、記念式典並びに記念事業を通して、設立当初の思いを皆様で今一度新たに、新時代に向けた出発点とし、時代を先取りした先導的な高等学校として次の100年に向け、ますますの成長と発展を願いつつ、今後ともご支援を賜りたくお願い申し上げます。

今後新たに事業計画等が決定いたしました際には、速やかに会員の皆様にお知らせを更新して参ります。下記のように100周年記念式典につきましては決定しております。

- 1 創立100周年記念式典開催日 令和8年10月24日（土） 開始時刻は未定
- 2 会場 水戸市民会館グロービスホール
水戸市泉町1丁目